

\*\*\*\*\* 会員企業の CSR・社会貢献活動の一覧 2018 年度 (50 音順) \*\*\*\*\*

2019 年 3 月 30 日現在

分野 会員名	①高齢者見守り・地域貢献活動等	②福祉系支援 (障がい支援・ピンクリボン運動等)	③自然環境保全活動等	④子育て・教育支援等	⑤被災地支援	⑥文化・スポーツ支援等
(株)アサンテ			シロアリ被害や腐朽を防ぐことで木造住宅の耐久年数を長くできれば、CO <sub>2</sub> 削減や環境保全にもつながります。私たちは、貴重な資源として現在まで受け継がれてきた森林を、当社の事業を通じて守っていきます。			日本が誇る歴史的木造建造物の中にはシロアリの被害を受けているものがあります。「日本文化の素晴らしさを多くの人々に伝えていくために、私たちの技術を役立てたい」と、神社仏閣の保護・保全に努めています。
エイボン・プロダクツ (株)		2002 年より乳がんの早期発見・早期治療を啓発するピンクリボン活動を実施。2018 年はセルフチェックの習慣化を促す活動や、啓発イベントへの出展、関連団体への寄付、寄付製品の販売に取り組んでみました。				
(株)サニックス				海外チームとの国際交流を通してグローバルな視野を持つ青少年を育成することを目的に、2000 年より順次、ユース世代の各種スポーツ (ラグビー、サッカー、ハンドボール、柔道、新体操) の国際大会を開催しています。		2001 年よりブルガリアの文化やスポーツを紹介するブルガリアフェスティバルを開催しています。毎年、民族舞踊団や新体操クラブも来日。市民参加型のイベントも行い、日本とブルガリアの文化交流を図っています。
(株)サミットインターナショナル		多くの視覚障がいの方が待ち望む盲導犬育成への寄付や交通事故遺児たちへの経済的支援を続けています。ピンクリボン運動では、オリジナルピンクリボンピンズを作成し売上の一部を「ほほえみ募金」に寄付しています。		平成 21 年、札幌市南区に「YURIKO サッカースタジアム」という少年少女専用のスタジアムを作りました。少年少女の健全な育成のために役立てて欲しいとの熱い思いから、使用料を無料にしています。		

(株)サンコー	各自治体が主催する救命講習を積極的に受講しています。また、お客様に正しいサプリメントの使用目的や活用法を提供するためにサプリメントマイスターの資格取得に力を入れています。	人と人との絆、ふれあい、つながりをテーマに箕面市社会福祉法人あかつき福祉会、ささゆり園ほかを対象に募金・寄付活動に取り組んでおり、2015年には大阪府知事より表彰を受けました。			当社社員および当社店舗のお客様に東日本大震災や熊本県災害について義援金募集を呼びかけ、集まったものは当社付近の県事務所または現地の官公庁まで社員が足を運びお届けしています。	
サンテクレール(株)				2006年に合計10校を目標に「カンボジアに学校を作ろう！プロジェクト」をスタート。2008年には記念すべき第一校目となる「ダムナクトラッチュ中学校」を寄贈し、2017年には5校目の寄贈も無事に終了しました。		
(株)シーボン	栃木県の生産拠点では、地域の美観を保ち気持ちよく過ごせる環境づくりの一環として、生産センターや研究開発センター周辺の清掃活動を行うとともに、栃木県が管理する公園の環境美化活動「愛パークとちぎ」へ参加しています。		栃木県にある生産拠点は、ISO14001 マネジメントシステムに基づき環境保全活動を推進しています。また、化粧品パッケージでは、フィルム包装や森林環境を適切に保全する認証を受けた紙を採用するなど環境に優しい製品づくりに取り組んでいます。	生産部門や、本社オフィス、全国の店舗において、地元の小中学校や高校の「職場体験学習」に協力し、モノづくりや美容の仕事に対する理解を促進する活動を続けています。		
蛇の目ミシン工業(株)	八王子にある本社において教育機関や地域の皆様に向けた会社見学会を実施しています。また、周辺住民の皆様を対象にした親子で取り組むソーイング教室を2010年より開催し、人気のイベントとなっています。	ピンクリボンモデル商品の売上金の一部を(公財)日本対がん協会「ほほえみ基金」に寄付しています。	地球環境保全に貢献すべく、グループ環境方針を定め、「ISO14001」を軸にした環境マネジメント体制のもと、環境配慮活動を行っています。			
(株)ジャパンヘルスサミット						2019年3月に「島川美術館」として仙台市に移転開館しました。当館を通じ、地域社会における文化活動と、その活性化に少しでも貢献できるよう美術の魅力を発信してまいります。

(株)シャルレ		女性を元気にする日本一のグループとして、2004年からピンクリボン運動を応援してまいりました。これまでは、商品の売り上げの一部を寄付しておりましたが、2016年より一歩進め、コミュニティ全体で啓発活動を実施しています。	シャルレのポートアイランドビルの屋上緑化や、商品パッケージの簡素化等の地球温暖化防止活動をしています。2018年度より商品の売上の一部を森の保護活動に役立てる、「元気な森づくり」運動を行っています。		災害救助法が適用されるなどの大きな災害に対する支援として、被災者の方が使われる下着・タオル等を、被災地の状況を確認した上でお送りしています。	
新生ホームサービス(株)	2008年から継続して、本社がある神戸周辺の清掃活動に取り組み、地域の環境保全に努めています。また、環境保全に関する社内研修の実施や、社外研修への積極的な参加を行っています。	2013年より障害児入所施設「おおぞらのいえ」にヴィッセル神戸と合同の交流会を継続しています。また、障害者雇用を積極的に行い、生き生きと働ける環境づくりを推進しています。			東日本大震災をはじめとする被災地を継続して支援しています。緊急支援物資の送付や現地でのボランティア活動、コンサートの開催などの様々な復旧・復興支援活動を行っています。	2011年より地元神戸で活躍するヴィッセル神戸をスポンサーとして継続支援しています。ともに一致団結して地域活性を目指しています。
(株)ダスキン	「クリーンアップマイタウン」活動では、皆さんが暮らし、そしてダスキンがお世話になっている身近な街と一緒にキレイにできればという想いのもと、全国各地でゴミ拾い活動を行っています。	「(公財)ダスキン愛の輪基金」を1981年に設立し、障がいのある内外の若者に障がい者福祉を学ぶ機会を提供しようと、海外派遣と日本への招聘の2つの事業を通して、障がいのある方の自立と社会参加を支援しています。	「白山国立公園」の固有の生態系保護のため、登山口や登山道など8カ所に計50枚のダスキンマットを提供し、登山者の靴底に付着した外来植物の種子を捕集することで、公園内への持ち込みを抑制しています。	事業の中核である「掃除」を通じて社会にお役立ちできる会社でありたい。そんな願いを込めて、ダスキンお掃除教育研究所が中心となり、2000年から学校教育現場での様々な清掃活動を無償でサポートしています。	2016年に発生した「熊本地震」では、飲料水や手指消毒剤などの支援物資を送りました。また、当社グループ内外に対しては義援募金を呼び掛け、ミスタードーナツでは避難所にドーナツを届ける活動などを実施しました。	全国の子どもに「生命の大切さ」「人を思いやる心」などを語りかけ、心豊かな社会の実現を目指す『こころの劇場』（主催：劇団四季、(一財)舞台芸術センター）に2014年度から協賛しています。
(株)TIENS JAPAN			「養生文化」の理念に基づいた持続可能な社会の実現に向けて、2008年から長野県「ecoca?の森 信州生坂」を、2013年からは兵庫県「ecoca?の森 宝塚」を開設し、2つの拠点で森林整備の支援活動を行っています。			

日本アムウェイ(同)				日本の次世代リーダーがアメリカの政治・経済・社会を学ぶ国際教育プログラムを支援しています。独自の官民連携のプログラムは、名門大学での講義と、持続可能な開発モデル都市の視察で構成されています。	「被災者を決して忘れないこと」「希望を届けること」—この2つの理念を軸に、コミュニティの再生を長期支援する活動『Remember HOPE 東北復興支援プロジェクト』を、実施しています。	
日本eリモデル(株)	定期的に地域の清掃活動をしています。2012年4月、当社は環境保全チームを発足しました。5名の社員が中心となり、地域の清掃活動に継続して取り組み、地域の美化に努めてまいります。		神戸とアフリカのケニア共和国で、リーモ・デールの森づくりを進め、環境保全活動を行っています。	2013年よりACEF（アフリカ児童教育基金）を支援。地域の学校教育支援やHIV孤児の健康向上を目的に、ケニア共和国エンブ県マキマ地区にあるHIV孤児院「JUMP&SMILE」の敷地内に、免疫力を高める植物「モリンガ」を500本植樹しました。		
日本メナード化粧品(株)			稲沢工場では地球環境に与える影響を考慮して環境マネジメントシステム国際規格「ISO14001」を導入。商品の生産に関わる全ての業務において、環境への配慮に努めています。			豊かな自然と落ち着いた雰囲気の中で、じっくりと美術作品を鑑賞できる「メナード美術館」。1987年10月、創業者を中心に収集した美術作品を広くご覧いただくために、愛知県小牧市に開館しました。
ニュー スキン ジャパン(株)	2006年～日本初のフードバンク、セカンドハーベスト・ジャパンと提携し児童養護施設や子どもたちに食品を届ける活動を継続。Food for Kids, Kids Caféを通して食事と学習支援を行っている。	アフリカのマラウイ共和国への農業教育を通じ、経済的自立を支援。子どもたちに栄養のある食事と教育の機会を提供しています。	霧多布湿原ナショナルトラストの湿原保全活動を2000年から継続支援。美しい自然を未来の子どもたちに残すため、湿原保護のための土地の買い取り活動や小型トラック寄贈などを支援。	子どもたちの主体性やリーダーシップを高めるプログラム「リーダー・イン・ミー」の公立小学校導入を支援（2018年度計13校を支援）フランクlin・コヴィー社によって提供される「7つの習慣」に基づく。	緊急被災地支援として、義援金寄付、製品や水など必要とされる物資を寄付しています。被災地域の子どもたちへ、毎年継続して会員とともに現地を訪れ小学校へ図書・書架や文房具支援を行っています。	女子プロゴルファー永井花奈選手とスポンサー契約締結、製品提供。パーディを取る度に社会貢献活動（FFG基金）へ寄付。また1998年～「サイクルマラソン鳥羽志摩線大会」（三重県志摩市）製品協賛。
(株)ニューポート			2003年に環境マネジメントシステムISO14001認証を取得し、現在も維持しています。スタッフ全員参加による取り組みが特色で、カーボンオフセットとグリーン電力購入により事業で排出したCO <sup>2</sup> を100%オフセットしています。			

(株)ノビア			地球温暖化防止や廃棄物管理等の環境保全活動を推進し、商品開発では「ECO パッケージガイドライン」を定めています。また、「ノビアグリーン基金」ではアルピニスト野口健さんと未来の自然環境を考えています。	子供たちの健全育成や地域活性化を目的に「海の子留学」制度を実施しています。また、ノビアグリーン財団では「六甲山の森づくり」に取り組むと共に、子供たちを対象に年数回の環境教室を開催しています。		ノビア銀座ギャラリーは、「時代を超えて価値のあるものを」をテーマに、ジャンルにとられないアート作品を東京本社ビル 1 階にて展示しています。
豊凜化粧品(株)		2005 年 1 月に「豊凜基金」を立ち上げ、今年で 14 回目になりました。日本全国で難病や環境等に悩まれる方々のために、売上金の一部を病院や施設など地域社会に還元しています。				
(株)ポーラ	自治体・NPO 等と連携し地域社会の課題解決に取り組んでいます。2009 年からは、日本の「ものづくり」の真髄を提案する「3・9 プロジェクト」を開始し、伝統技術を活かしたお客様プレゼント製作を通して、縮小傾向にある地域産業の活性化に貢献。	がん共生プログラムでは、「がんと共に生きる」ことにより向き合い、一人ひとりが、かけがえのない存在として認め合う社会の実現に向けて、さまざまなプログラムを展開しています。			2012 年から東日本大震災によって応急仮設住宅への美容ボランティアを実施し、被災者から「気持ちが明るくなった」等の声が寄せられています。	印象派絵画や化粧道具を数多く収蔵するポーラ美術館の運営支援、化粧文化の研究や情報を発信するポーラ文化研究所、現代アートを中心に企画展を無料で展開するポーラ ミュージアム アネックスを運営しています。
マナテックジャパン(同)		栄養不足で亡くなる子供は年間 500 万人。マナテックは栄養補助食品の企業として、この現実を変えようと決意。500 万人の製品購入で、500 万人の子供達を救う仕組みを作り、「M5M (ミッション 5 ミリオン)」と名付け活動しています。				
(株)丸八真綿販売			開発・製造・販売・アフターサービスにわたり自社一貫性システムにより最終処分まできちんと責任を持つとの考えから、お客様のご不要になった寝具を固形燃料化し、メロン温室の燃料として再利用しています。	袋井リサイクルセンターに入荷した不要ふとんの枚数に応じて、中央共同募金会に寄付をする活動を行っており、寄付金は児童福祉関連施設の活動助成金として役立てられています。		

三基商事(株)		古本や未使用切手、書き損じはがきなどの回収箱を営業拠点などに設置し、認定 NPO 法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」の活動を支援しています。		「ミキブーン文庫」を通して、夢と知識を贈り、未来を担う子ども達が心身ともに健やかに育つようと、全国の販売員が本を届けています。2018年に第6回を迎え、これまで国内外へ寄贈した本は合計 11,000 冊を超えました。		
(株)みらい住宅開発紀行			地球温暖化防止へ、社員一人一人ができることに取り組んでいます。環境保全を第一に考え、全社員が、社内研修、社外研修を積極的に取り組むことで温暖化防止に貢献しています。	子どもへの虐待をなくすオレンジリボン運動に取り組んでいます。地域の方々にこの運動を知っていただくため、公式 T シャツの着用や啓発チラシの配布、車両への同マークを貼るなどの普及活動を行っています。		